

子ども達のちからで

ひまわり組になって3か月が経ち、少しずつ力（行動力）がついてきて夏祭りに向けて自分たちのしたいことを形にできるよう（表現力、実行力等）奮闘している子ども達です。最近の子ども達を見ていると自分がリーダーシップをとっていくんだと意気込んでいる姿がよく見られ、その分衝突も多くなっています。「先生、A君がこんなこと言った」「B君が嫌な事した」と言いに来ますが「C君はどう思った？」と気持ちを確認してそれを伝えてみたら？と自分で伝えにいくよう促してみたり、仲裁に入ってお互いの気持ちを伝え合うようにしたりとその時によって保育者のかかわり方は様々ですが自分の気持ちを言葉にして相手に伝えることを大切にしています。

エピソード1



積み木を2チームに分かれてどっちが高く積み上げれるか遊んでいた時の事です。友だちと協力し合って積み上げていきますが、いつ相手に抜かされるかとドキドキハラハラ「落ちろ！落ちろ！」とお互い負けたくなくてこんなチクチク言葉コールがでてきました。すぐ止めたくなるコールでしたが今、チームの一体感を感じているのかな、お互い競い合っているのが楽しいのかなといろいろ子ども達の気持ちを想像して声を掛けるのを待ってみました。



ガシャーン

保: どうやった?

子: おもしろかった! こっちの方が高かった

保: どちらも高い所まで行ってすごかったね!
でも「おちろ! おちろ!」言われてどうやった?

子: 嫌やった! 腹立った!

保: そうやね、嬉しくない言葉やね。自分のチーム応援する方が気持ちいいよね。

子: あっ頑張れーとか?

保: おっ! それいいねー

エピソード2



最近、ひまわり組では塗り絵や写し絵がブームです。きれいに色を塗ったり、はみ出さないように線の上をなぞったり、楽しむ中で鉛筆の持ち方も安定してきたなあと思って見えています。友だちと並んで窓際でうつし絵をしている時おふざけモードになりつつ壁にまでお絵描き…「あー!」の声でピタッ



子: そんなとこ描いたらダメやー
おし、消したげる

なにも言わなくても、こうしたらいいと考えて行動してくれた子ども達です。クーピーの蓋にも前から落書きしてあったのですが消しゴムを使ってゴシゴシ

子: 先生、見てキレイになったよ。

保: キレイになって気持ちいいね、ありがとう

自分たちで気づいて、こうした方がいいかなと考えてキレイにしてくれた気持ちがとても嬉しかったです。

自分で考える力を育むために

ひまわり組では自ら考える力を育むために大人の思いや声掛けはちょっとブレーキをかけて子ども達が今何を感じてどういう気持ちでいるのかな?と想像するようにしています。それから「どう思う?」「どうしたらいいかな?」を聞いてみることを大切にしています。友だちと一緒に遊ぶことが楽しくなってきたからこそそのトラブルなので、たくさん考える機会を作って友だちの気持ちを考え、思いやりのある子どもたちになってほしいなと願っています。

先日、サイエンスヒルズこまつで自分の好きなもので遊んでいましたが、その中で自分が面白いと感じたものを「ねえねえこれおもしろいよ」「一緒にこれで競争してみよう」と友だちを誘って、楽しさを友だちと共有したいという気持ちが伝わってきて友だちの存在が大きくなってきていることを嬉しく感じました。

帰りの会で、今日の楽しかったことや素敵だった姿を紹介したり、園に来るのが楽しみになるように明日の予定をお話しています。お家でも園であったことをお話しているようで嬉しく思っています。小学校へ向けて自分でお家の人に話を伝える練習になったらと思い、お家の方にもお話してねと伝えています。…が急に思い出して言うこともあり驚かれる方も多そうですね。持って来てほしいものや、時間など伝え忘れて子ども達が困ることはお便りや帳面などでお知らせするのでご安心下さいね。